

備中高松城下町かわら版

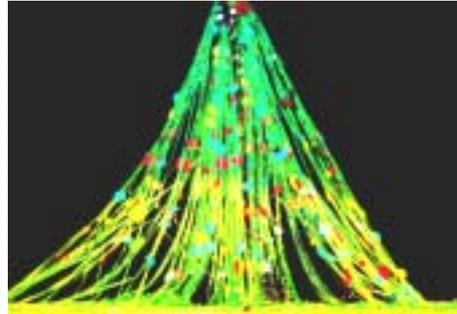
http://www.takano.okayama-c.ed.jp/

第 5 号

平成 17 年 1 月 20 日

発行元
岡山県立
高松農業高校

tel
086-287-3711
fax
086-287-3713



交流会の第 4 回は、12 月 16 日のクリスマスツリー作りを行いました。生徒たちが作ったツリーが、会場に飾られ、大いに盛り上がりました。また、この機会に、生徒たちが書いたクリスマスカードも、会場に飾られ、大いに盛り上がりました。

【朝礼台】

新年明けましておめでとございます。今年もよろしくお願ひいたします。

昨年は相次ぐ台風の上陸、新潟県中越地震、そしてスマトラ沖地震と日本列島のみならず国外でも自然災害に見舞われました。昨年の世相を象徴する漢字に「災」が選ばれましたが、まさに「災」の年でした。今年はずいぶん穏やかな年になることを願わずにはいられません。

「年が変わる」「正月を迎える」ということは、私たちの人生の一つの節目でもあります。時の流れに節目を付け、その節目節目に自分を振り返り、よりよく自分を生かしていこうとするのは、人間だけがなし得る精神作用であり、それが困難な出来事乗り越えたり、高度な文化や科学を生み出したりする原動力になります。時は絶えず過去から未来へと流れてますが、現在という時点に立って、過去を振り返り、将来について思いを巡らせてみることも大切です。

(校長より)



上の写真は昨年 12 月、2004 年ベラルーシ国際ジュニアレスリング大会に、日本選手団の選手・役員として参加した高林勇君（農業土木科 3 年）【写真左】と顧問の森浩教諭【写真右】です。撮影場所はモスクワ赤の広場。日程の中では競技だけではなく、ベラルーシの高校生や子供たち、町の人たちに熱烈な歓迎を受けたり、歴史記念館で第二次世界大戦の惨状を目の当たりにし、楽しくかつ感慨深いものがあったそうです。

あけましておめでとございます。今年もよろしくお願ひいたします。

【季節風】このコーナーでは毎回、町の人の声を載せています。高松生のホットする話、美しい行動など何でもお寄せください。【投稿のきまり】本校住所（岡山市高松原古才 336-2）に、はがき・電話・FAX の何れの方法でもかまいませんが、「かわら版係」と告げ、あるいは明記し、御一報ください。その際、氏名（匿名可）・年齢・性別等お知らせいただければありがたいです。投書に要約する場合もありますので、予め御了承ください。

【歓声】

高松農業高等学校・興陽高等学校第 5 回演奏会
昨年 12 月 23 日に倉敷市芸文館ホールで開催されました。興陽高校のマーチングバンドの後、本校の総勢 28 人が登場。本校吹奏楽部はテレビでおなじみの「ウオーターボイス」のテーマソング「シンクロナイズド・BOM BOM BAYE」ほか 11 曲を披露。また、最上太鼓も勇壮な演奏で響渡。なお、高松地区の多くの商店や企業の方に広告料として御協力いただきました。有難うございました。

【放課後】(その 2)

レスリング部・日本レスリング協会主催の中国四国ブロック強化合宿の高校生トーナメント大会が 12 月 25 日、倉敷市少年自然の家でありました。本校は倉敷高校に次いで団体 2 位、個人では 60 キロ級で大道翔貴君（農業土木科 2 年）が第 3 位、84 キロ級で金光正浩君（園芸科学科 2 年）が第 1 位、96 キロ級で安原涼平君（生物工学科 2 年）が第 3 位と健闘しました。総勢 14 名が、1 月 29 日・30 日に開催される中国大会へ出場します。

【職員室】本校の工藤祐士教諭が平成十六年度岡山市スポーツ功労賞を受賞しました。また、平成 16 年 12 月 23 日東京で開かれた平成十六年度全日本レスリング選手権大会（天皇杯）フリースタイル 74 キロ級で堂々の第 3 位となりました。ちなみに工藤教諭のベンチプレス・マックス 140 kg です。

【農場】& 【陽光】新技術紹介・本校果樹部のスタッフ（坂本・永田・池畑の 3 先生）が、総社市の桃栽培農家の秋山陽太郎さんの果樹園を訪問し、桃の「超甜せんだん栽培」の研究をしました。この栽培技術は、従来のせんだんとは異なり、できるだけその樹の力を生かし、「樹につくらせる」という視点に立ち、栽培技術体系の簡素化も図っています。短果枝が多く、多数の芽を有することから、摘らいが重要な技術・作業になりますが、高品質・多収穫を安定的に続けるということ、本校でも、挑戦します。



【あぜみち】今、農場の温室は別世界です。写真はアンドロニコウム。他にもシクラメンが咲き誇り、一足早く春が来たようです。サイネリアなども、もうすぐ花をつけます。農場を訪れた時にはぜひ温室をのぞいてみてください。

【ホームルーム】昨年来の報道の中で、気になった二つの数字を紹介いたします。一つは、記録的な猛暑となった昨年の年間平均気温が全国百五十地点すべてで平年値を上回ったということ（気象庁）。また、日本人の平均年齢が今年四十三・一歳になり、五年前より二歳近く高く、少子高齢化はさらに進んだということ（国立社会保険・人口問題研究所が推計）。世界が大変な時にこんなことを話題にするのは狭小な気もするが、自然災害の他にも深刻な問題がゆるやかではあるが迫っている。ちなみに本校職員の平均年齢は三十九歳。生徒の平均年齢は十七歳。こちらは今年も元気の地球は親がくれたものではない。子ども達に借りたものである。「少し強引で無理があるような気もするが、「地球」を「高麗」に置き換えて、今年も頑張ろうと思ふ。」